

みなとタウンフォーラム・第7グループ 子育て・教育分野

令和2(2020)年3月23日

みなとタウンフォーラム第7グループ [メンバー]

相澤 智美	大竹 佳代子	齋藤 茉里奈
齊藤 裕子	進藤 君枝	橋本 絵美
伏見 俊介	山本 和仁	

※メンバーは五十音順



提言にあたって

第7グループ【子育て・教育分野】

私たち第7グループは、子育て・教育分野について、メンバーの興味・関心に基づき、「保育・子育て支援サービスの充実」、「学校教育の充実」、「子どもの健全育成支援」の3つのテーマに分け、全8回にわたり、グループ会議で議論を重ねてきました。

私たちは、前述した3つのテーマについて、港区の現状と課題を確認しました。

その中で、区民目線を持つメンバーからは、働き方の多様化など様々な家庭の状況に対して、既存の保育サービスだけでは十分に対応できていないこと、プロジェクト型の学習や外部講師等を活用したプログラムの拡充が必要であるが、学校教育の中だけでは時間的・人的制約があること、虐待、いじめ、貧困、ひきこもり等の支援を必要とする子どもを地域全体で見守る体制の整備が必要であることなど、それぞれのテーマにおいて日頃感じている様々な課題が挙げられました。

また、全体を通して港区が子育てや教育に係る様々な取組を行っているにもかかわらず、その情報が区民に十分に伝わって

ないことも課題として確認されました。

社会を取り巻く環境が急速に変化し続ける中で、多様化する保育・子育て支援のニーズに対応し、地域が一体となって子どもたちの成長を見守りながら、令和という新しい時代に羽ばたく人材を育てていくことが求められています。

港区は、乳幼児や児童生徒を含む区内人口の増加が見込まれており、今後益々、子育て・教育分野の重要性が増していくものと考えます。

私たちは、次期港区基本計画の計画最終年度末（令和8（2026）年度末）に向けて、その課題を解決した、よりよい港区を実現したいとの思いで意見を交わし、第7グループの提言として取りまとめました。

この提言が、令和3（2021）年度からの次期港区基本計画に反映され、子どもを持つ家庭が安心して子育てに取り組み、子どもたちが地域に見守られながら、個性を生かし、才能を磨くことができるまちになることを期待します。

提言の体系

テーマ	提言内容（具体的な事業）
保育・子育て支援サービスの充実	サービスの利便性の向上
	ネットワークづくり
	ICTによる情報の周知と手続きの簡素化
学校教育の充実	児童生徒の資質能力やニーズに応じた学習や体験の機会の提供
	企業や地域による課外学習講座の充実
	特別な支援を必要とする児童生徒へのキャリア教育の充実
子どもの健全育成支援	支援を必要とする子どもに関する実態把握と要因分析
	区民等と関係機関との連携強化
	地域で子どもたちを見守る環境づくり

第1グループ
【街づくり分野】

第2グループ
【防災・生活安全分野】

第3グループ
【環境・リサイクル分野】

第4グループ
【地域コミュニケーション分野】

第5グループ
【国際化・文化分野】

第6グループ
【産業・観光分野】

第7グループ
【子育て・教育分野】

第8グループ
【生涯学習・スポーツ分野】

第9グループ
【福祉・保健分野】

テーマ① 保育・子育て支援サービスの充実

計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

- 各家庭が必要な情報を入手し、家庭ごとの状況に応じた子育て支援を受けることができるまち

保護者の就労形態をはじめとした各家庭の状況が益々多様化する中で、各家庭のニーズに応じた保育・子育て支援サービスが提供され、各家庭が情報を容易に入手し、必要なサービスを隔てなく享受できるまちが実現している。

実現に向けた課題

- 働き方の多様化など現在の様々な家庭の状況に対して、既存のサービスだけでは十分に対応できていない。
- 互いに情報を共有し悩みごとを相談し合うための保護者同士、特に父親同士のつながりが希薄である。
- サービスを必要とする人に必要な情報が届いていない。また、サービスを利用する際の手続きが煩雑である。

取組の方向性

保護者の働き方や家庭の状況などの現状を踏まえた多様なニーズに対応するようサービスを拡充し効率的に提供する。また、保護者同士のネットワークづくりを支援し、ネットワーク内において保護者が抱える悩みの解決や情報共有を目指す。サービスの提供にあたっては、ICTの積極的活用を含めアナログとデジタルの両面から情報を発信し、誰もが等しく情報に触れる機会を創出していく。

具体的な事業

- サービスの利便性の向上
保護者の就労形態等の家庭の状況に対応できるよう、認定こども園の新たな設置や、病児・病後児保育の受入可能枠の拡大等により、働く親への利便性を高める。
- ネットワークづくり
母親のみならず父親も含めた保護者同士のネットワークづくりを支援することで、父親、母親が等しく育児に参加することを促進する。
- ICTによる情報の周知と手続の簡素化
ICTの活用により、各種サービスの利用可能状況がリアルタイムで分かるような仕組みや必要な人に必要なサービスの情報が届くような仕組みを構築するとともに、利用に係る手続きを簡素化する。

参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- サービスの拡充に向けて、既存サービスに対する意見・要望の発信
- 保護者同士のネットワークの構築と参加に向けたきっかけづくり
- 保護者間のコミュニティやネットワークを通じた情報の伝達

テーマ② 学校教育の充実

計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

- 子どもたちが自らの興味・関心や長所に応じた教育を享受し、個性や才能を育む教育が提供されるまち
子どもたちが、学校や地域の中で自らの得意なことや興味・関心のあることなどを認識することができ、その得意なことや興味・関心のあることを探究することで自らの個性や才能を育むことができるまちが実現している。

実現に向けた課題

- 子どもたちが自らの得意なことや興味・関心のあることを探究するために、プロジェクト型の学習や外部講師等を活用したプログラムの拡充が必要であるが、学校教育の中だけでは、時間的・人的制約がある。
- 企業やNPO、地域などで様々な学びの場が創出されているが、そうした取組が学校での学習と体系的に結びついていくためには、学校と地域やNPOなどの学校外との連携が一層必要である。

取組の方向性

個々の児童生徒に応じて、学校での学習のみならず、企業やNPO、地域などが提供するプログラムを一層活用するなどして、児童生徒のより深い学びを補完する。また、学校外での学びの差が学力等の差にならないように、情報提供等により機会の平等を確保するとともに、特別な支援を必要とする児童生徒の教育の充実も図る。

具体的な事業

- 児童生徒の資質能力やニーズに応じた学習や体験の機会の提供
児童生徒の学力に応じて、基礎的な学習から応用的で深い学びまでレベル別の授業を提供する。また、興味・関心などニーズに応じて多彩な経歴を持つ講師による授業を展開する。
- 企業や地域による課外学習講座の充実
学校、中高生プラザ等において、区、企業、NPO等による事業企画や職場体験などのプログラムを充実させる。また、ICTを活用して学校外での学びの機会の周知を行う。
- 特別な支援を必要とする児童生徒へのキャリア教育の充実
特別な支援を必要とする児童生徒が、就業後もその個性や才能を発揮し、安心して働くことができるように、企業訪問や就業体験などのキャリア教育を充実させる。

参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 多彩な経歴を持つ有志区民による講座の提供
- 企業によるキャリア教育、職業教育などプログラムの開発と提供

テーマ③ 子どもの健全育成支援

計画最終年度末(令和8年度末)における港区の将来像

- 地域全体で子どもたちの健全な育ちを見守る社会が実現したまち
地域における区民、地域団体、行政、企業等の多様な主体が、子どもたちの心身の健全な育ちを見守ることで、子どもたちが誰一人取り残されることなく、安心して健やかに過ごすことのできるまちが実現している。

実現に向けた課題

- 虐待、いじめ、貧困、ひきこもり等で支援を必要とする人の実態を詳細に把握する必要がある。
- 実際に支援を必要とする人が、自発的に助けを求められない場合がある。
- 支援を必要とする子どもを地域全体で見守る体制の整備が必要である。

取組の方向性

区内における支援を必要とする子どもの実態を把握することで、虐待やいじめ等に至る要因を明らかにする。また、子どもたちのみならず周囲の大人たちに対しても、虐待やいじめ等に関する知識の普及や意識啓発を行いながら、地域と行政が協力して支援を必要とする人を見つけていく環境をつくっていく。

具体的な事業

- 支援を必要とする子どもに関する実態把握と要因分析
区内の支援を必要とする子どもの実態を詳細に把握するとともに、蓄積した情報からそれらの発生要因や傾向等を分析して、早期発見と未然防止に向けた効果的な取組につなげる。
- 区民等と関係機関との連携強化
虐待やいじめ等の早期発見に向けて、区民等が、虐待やいじめ等を受けている子どもに見られる兆候を察知して、その情報を各関係機関に確実につなげるよう取組を強化する。また、学校や学童クラブ等は、子どもたちに対して、助けが必要な時に誰かに相談をすることの大切さを伝えるほか、異変を察知した場合は各関係機関につながるよう連携を強化する。
- 地域で子どもたちを見守る環境づくり
企業との連携や子ども食堂のような新たなコミュニティづくりの支援等を通じて、支援を必要とする子どもの早期発見のための連絡体制を構築する。悩みを気軽に相談できる場、同じ悩みを持つ者同士が交流できる場を提供していく。

参画と協働の推進(区民等の事業への携わり方)

- 区民、地域団体、企業は、日常的に子どもたちの様子を見守り、普段と異なる様子が見られた際は、声掛けや行政への情報提供を行う。また、子どもたちを見守る取組の担い手や、人材、資金、物資の提供などによる支え手として、活動を支援していく。

開催経過 第7グループ【子育て・教育分野】

回数	開催日時	内容
第1回	令和元年9月19日(木) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none">・事務局紹介・グループ会議の進め方について・分野における現状と課題について・リーダー、サブリーダーの選出・検討テーマの選定
第2回	令和元年10月17日(木) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none">・第1回グループ会議の振り返り・検討テーマ「保育・子育て支援サービスの充実」について
第3回	令和元年10月24日(木) 18:30~20:45	<ul style="list-style-type: none">・第2回グループ会議の振り返り・検討テーマ「保育・子育て支援サービスの充実」について
第4回	令和元年11月7日(木) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none">・第3回グループ会議の振り返り・検討テーマ「学校教育の充実」について
第5回	令和元年11月21日(木) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none">・第4回グループ会議の振り返り・検討テーマ「学校教育の充実」について
第6回	令和元年12月11日(水) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none">・第5回グループ会議の振り返り・検討テーマ「子どもの健全育成支援」について
第7回	令和元年12月20日(金) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none">・第6回グループ会議の振り返り・検討テーマ「子どもの健全育成支援」について
第8回	令和2年1月17日(金) 18:30~20:30	<ul style="list-style-type: none">・提言内容の確認について